



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 五十嵐 武
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>

教育委員長あいさつ

高齢者歯科学教室 佐藤 裕二

若輩にもかかわらず、6月より教育委員長を拝命いたしました。前任の岡野友宏教授は6年間にわたり、歯学部新カリキュラムの立案・実施に多大な貢献をされ、後任としては責任の重大さを痛感しているところです。私はまだ要領が悪く、会議などでばたばたしており、ご迷惑をおかけしておりますことをお詫びいたします。



現在、教育に関してはいくつかの懸案事項があります。共用試験(OSCE, CBT)の本格実施、PBLの導入、新しい診療参加型を目指した臨床実習の施行、選択実習の本格実施、教育評価の導入などです。さらには、新カリキュラムの改訂もその後に控えています。そこでは、基礎と臨床の更なる融合、PBLの充実、講座の壁を越えた実習なども検討されています。歯学部のメンバー全員の力を合わせる必要があります。

私は、3年半前に昭和大学に赴任以来、ワークショップにも積極的に関与させていただき、あらためて教育の重要性を認識し、教育手法についても学ばせていただきました。しかし、まだまだ不十分であり、学部長、前教育委員長のご指導のもと、皆様のお力をお借りして、全力投球をしたいと考えております。教育は大学の大きな柱です。学生たちが目を輝かせて、すばらしい歯科医師を目指してがんばる姿を見ることを喜びにしたいと思います。どうかよろしく願います。

父兄会総会

歯学部長 宮崎 隆

去る6月25日(土曜日)午後に、平成17年度父兄会総会が上條講堂で開催されました。総会后各学部に分かれて、歯学部は1号館7階講堂で歯学部会を開催いたしました。1年生から6年生まで合計115名の父兄の参加がありました。学部長、学生部長、教育委員長からそれぞれ挨拶があり、限られた時間ではありましたが密度の濃い質疑応答が行われました。夕方には7号館(体育館)で懇親会が開催されました。歯学部では昨年に引き続き、当日の午前中に6年生父兄を対象に卒業および国家試験受験までのカリキュラム等の流れおよび卒後の進路について説明会を開催しました。特に卒後研修必修化については、マッチングのシステムや本学歯科病院の研修プログラムについて、総合診療歯科の長谷川科長からわかりやすい紹介があり、父兄も参考になったと思われます。

ワークショップ委員会委員長あいさつ

歯科補綴学教室 菅沼 岳史

このたび、前委員長佐藤教授が教育委員長に就任されたことにより、私がお指名を頂きワークショップ委員会委員長に就任することになりました。ワークショップには、第2回、第3回ワークショップへ受講者として参加し、第5回からはワークショップ委員会のメンバーとなり、第1回と第4回以外のワークショップに受講者あるいはタスクホースとして関わってきました。突然のお指名でその責を全うできるか不安ですが、なんとかこれまでの参加経験を生かし、ここにも負けない昭和大学歯学部の学生教育充実のためのお手伝いができるようにがんばっていきたいと思います。



近年、講座の統合、定員の削減、新カリキュラムへの移行、共用試験の本格実施、臨床研修の必修化など業務の負担がますます増えてきておりますが、教育機関である以上学生の教育をおざなりにするわけにはいきません。教員が教育に対して自己満足で終わることなく、学生に価値のある変化を永続的に起こさせ、より効率的な教育ができるようなワークショップ活動を目指したいと思います。

これからも多くの先生方のご指導とご協力の程をお願い致します。

昭和大学学生会リーダーズキャンプ

学生部長 立川 哲彦

昭和大学学友会は学生運営組織の活性化と将来医療従事者として、各医療分野でのリーダーシップを発揮できる医療人の育成ということを目的としてリーダーズキャンプを開催しました。本年度はその第1回目ということで、7月9日、10日の両日、山中湖畔の日本青年会館別館で行われました。出席者は学友会、体連、文連、各学生会などから学生23名(医:10名、歯:9名、薬:3名、保健:1名)が参加し、指導者として学生部長(4名)、職員(3名)の計30名が参加いたしました。1日目は立川歯学部学生部長より「リーダーシップ論」の講演が行われた後、班別に別れ、学生自治機関の組織化、学生会館の管理方法、学園祭の活性化などが討議されました。2日目は「まとめ」が中心でしたが、討議していく中で、学部の枠を越えた種々の問題点や各学部での問題点が浮き彫りにされ、それらの問題点の解決方法まで激しい討議が繰り広げられました。このキャンプは学生だけの問題ではなく、学生側からみた医学・歯学・薬学教育についても討議され、われわれ教員にとっては新たな教育の一面をみたようで、学生、教員ともに実り多いキャンプになりました。1日目の夜はあいにく雨となりましたが、それでもキャンプということで屋外でバーベキューをやり、ビールを飲み、大いに討論いたしました。

夏休み海外実習・研修(アデレード大学歯学部)

国際交流センター運営委員 岡野 友宏

本年3月にアデレード大学(オーストラリア)との間で学生、教員の交流プログラムが調印され、早速、夏休み期間中に本学の学生3名を当地に派遣することとなりました。学部長の説明に幸い多くの学生が興味を示し、2年生2名、3年生5名、4年生2名の計9名の応募がありました。

現地では他の学生に混じって、PBLテュートリアル、実習、講義、自習などを行う関係上、英語力がまず求められます。そこで英語によるインタビューをSuzanne Knowlton先生に依頼しました。私も同席しましたが、数名の学生は非常に高い英語力を示しました。稚拙であっても苦労しながら高い学習意欲を表現してくれた学生もいました。印象ではTOEICで800点は必要で、これでもアクセントの強いオーストラリアの英語に慣れるには多少時間を要するでしょう。次の試験は歯学部長・学生部長・教育委員長と私との面接で、ここでは学習意欲と基本学力をチェックしました。

この二つの試験の結果、3年生の森田麻友さん、小野岳人君、4年生の武井美咲さんの3名が選考されました。選考されなかった学生には語学力の非常に高い学生や、PBLの理解の高い学生がいました。非常に残念ではありますが、次の機会に再挑戦していただきたいと思います。

翌日にはアデレード大学のオリエンテーションを片岡講師と私で行い、同時にチケットの準備をしました。今回は急なこともあり、また夏休み期間中ということもあり、チケットが普通のルートでは手に入りませんでした。偶然にも選考された学生の中に航空会社勤務のご父兄がおり、そのご協力で無事、手配ができました。海外研修にはいくつかの問題点がありますが、先行した医学部や国際交流センターのご協力を頂き、当方で準備できる範囲の努力はしております。この初めての海外研修が実り多いものになることを祈るばかりです。なお、7月23日に出発し、後期が開始される25日から3週間、当地の学生たちと同一の授業を受けます。この間は大学の宿泊施設に滞在します。本研修は「学生海外実習・研修補助規定」の補助の対象で、学生あたり10万円以内が支給されます。

オープンキャンパス

入試広報委員長 山田 庄司

6月18日(金)14:00から1号館7階講堂にて高等学校と予備校の進路指導担当教諭を対象とした、昭和大学説明会が行われました。参加者は約40名で、その内4名がおもに歯学部の説明を聞くための参加者でした。

学長の挨拶につづき、4学部から、平成16年度入学試験と各学部の特徴の説明が行われました。15:30から各学部別に分かれて旗の台の施設見学が行われました。歯学部の見学コースは「マルチメディア・情報教育施設」「歯科理工実習室」でした。16:00からは入院棟17階レストランで、懇親会および各学部のブースでの個別説明会が行われました。懇親会には参加校を卒業した在学生にも参加してもらい、高等学校の先生との懇談が行われました。歯学部の在学生は都合が悪く、参加できなかったため、教員との懇談を楽しみにしていた先生は少し寂しそうでした。

診療参加型臨床実習の開始にあたり

共同診療室 ヘッドインストラクター 塚崎 弘明

8月8日(月)より5年生の臨床実習が始まります。本学では昨年度まで、各科独自のプログラムによる見学主体の臨床実習を実施していました。しかし、教科によっては院内生に対する教育効果の問題や、各科の連携不足等の弊害があることが三島ワークショップ等で再三指摘されてきました。そこで新カリキュラムへの移行に伴い、これまでのローテーション方式と、新たに開設される「共同診療室」において実施する中央方式を統合したハイブリッド型の臨床実習を実施する運びとなりました。歯科病院4階の「共同診療室」では保存科、歯周病科、補綴科の各インストラクターが共同で診療にあたるとともに、院内生も診療スタッフの一員として診療に参加します。長期にわたり院内生が同じ患者様と接することにより信頼関係が構築され、院内生の診療参加機会もより増加する相乗効果が期待されています。また、診療に積極的に参加することによって院内生一人一人に医療従事者としての自覚と責任感を芽生えさせ、高い教育効果を達成することも目的のひとつです。新方式の実施にあたっては、これまで多くの教職員の方々に協力をいただき、何とかスタートラインにこぎ着けました。しかし、本実習を軌道に乗せ、画餅に帰さないようにするのは学生および教職員の熱意と努力にかかっています。今後とも、教職員各位の御協力をよろしくお願い致します。

国際交流 中国吉林大学との共同研究

小児成育歯科学教室 伊田 博

中国長春市の吉林大学口腔医学院との共同研究打ち合わせのため佐々龍二教授、鈴木基之助教授(歯周病学教室)とともに6月16日～6月18日の日程で中国へ行きました。

以前、我々は2001年に長春市に在住する小児を対象に研究調査を実施しており、今回で2度目の研究調査となります。今回の打ち合わせでは、中国側の出席者として口腔医学院の高文信病院長、昭和大学で留学経験のある魏秀峰教授(口腔粘膜病科)と倪雪岩助教授(小児歯科)をはじめ6名の先生方でした。高文信病院長の挨拶からはじまり、佐々龍二教授の挨拶および共同研究協力をお願い、また、9月に実施される研究調査の具体的な内容の説明と、今後の国際交流について話し合わせ、最後に共同研究計画書に相互に調印を交わしました。さらに、実際に調査を行う小学校の視察と校長先生へのご挨拶、研究協力の約束などを行いました。



第11回 昭和大学医学教育者のためのワークショップ報告

広報委員長 五十嵐 武

7月25～27日、神奈川県厚木市のアンリツ研修センターで57名の参加者により第11回昭和大学医学教育者のためのワークショップが開催されました。歯学部からはタスクホースとして宮崎教授、久光教授、ピギナーコース(カリキュラムプランニング)に五十嵐教授、アドバンスコース(富士吉田教育部の目標作成)に佐々木教授、アドバンスコース(学部横断型PBLシナリオ作成)に中島講師がそれぞれ参加いたしました。ピギナーコースでは「チーム医療」「医療倫理」「医療安全管理入門」の3ユニットそれぞれに対し、目標(GIO, SBOs)、学習法略、評価方法を作成しました。また、アドバンスコースでは来年度からの富士吉田教育部の目標が作成され、さらに学部横断型PBLの実施要項と実際のシナリオの一部が作成されました。さらに、医療安全管理 - 異職種間ワークショップ: 慈恵医大の試み - と題して、東京慈恵医大の福島統先生によるとても興味深い講演を拝聴することが出来ました。

今年は富士吉田校舎が増改築中のため、場所を厚木市のアンリツ研修センターに変えて行われましたが、ピギナーおよびアドバンス共に参加者全員がとても熱心に取り組み、各コースとも実りある成果を得ることができたと共に、他学部との交流も活発に行われ、有意義な3日間となりました。

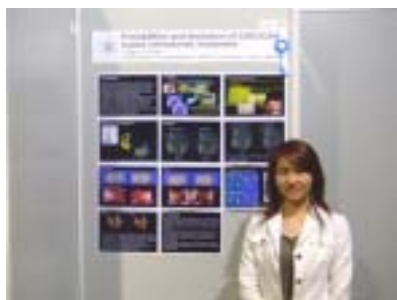
最後に細山田学長から参加者1人1人に修了証が手渡され、無事ワークショップを終えることが出来ました。



矯正学教室・阿部有美子先生・CARS 学会賞受賞

歯科矯正学教室 宮崎 芳和

6月24日、ドイツ、ベルリンで開催された Computer assisted radiology and surgery において、本学矯正科の阿部有美子先生が学会賞 (Poster award; 1st prize) を受賞されました。



『Possibilities and limitation of CAD/CAM based orthodontic treatment』と題された受賞演題の内容、CAD/CAM を利用した、新しい見えない矯正治療装置に関するもので、その方法論と、歯の移動結果に関する検証とが提示されました。コンピュータによる手術シミュレーション、ナビゲーション、手術ロボットや医用バーチャルリアリティなど、未来の外科と科学技術に関する学会で、歯科領域からの受賞は非常に稀であり、名誉ある受賞となりました。

第10回 昭和大学歯学教育者のためのワークショップ予告

ワークショップ委員長 菅沼 岳史

第10回昭和大学歯学教育者のためのワークショップは、PBLの新々カリキュラムへの導入をメインに、1990年からPBLを学生教育に導入されている東京女子医大の吉岡俊正教授をお迎えし、下記のとおり開催されます。

日時: 8月18日(木)～20日(土)

場所: 東レ総合研修センター(静岡県三島市)

内容: 新しいPBLに対応した教育

(ピギナーズコース・アドバンスコース)

目的: ピギナーズコース: シナリオ作成を通してPBLへの理解を深め、新々カリキュラムに対応した教育手法を獲得する。

アドバンスコース: PBLをスムーズに導入するための新々カリキュラムのあり方を考える。

参加者: 理事長(未定)、学長、学部長、病院長、教育委員長、前教育委員長、PBL委員長、WS委員長、PBL委員10名、WS委員3名、PBL・WS委員2名、各講座から15名

4大学交流参加者(北医大1名、岩手医大1名、福歯大2名)

招待タスクホース(吉岡俊正 東京女子医大医学教育教授)

招待タスクホース(高木 康 昭和大学医学部医学教育推進室教授)

教務課3名

生協25周年祝賀会

生活共同組合 理事 上條 竜太郎

昭和生活協同組合は本年6月をもって創立25周年を迎え、6月23日午後6時より、旗の台キャンパス1号館地下学生ホールにて祝賀会が開催され、生協関係者、教職員、学生など、約120名が出席しました。歯学部からは宮崎歯学部長と立川学生部長がご出席になり、歯学部を代表して宮崎歯学部長が祝辞を述べられました。祝賀会は設立当時から現在までの思い出話で終始盛り上がり、和やかな雰囲気の中、午後8時に閉会となりました。歯科病院の洗足店、旗の台店ともに、生協は歯学部の教職員、学生にとってなくてはならない存在となりました。今後ともこれまでと変わらぬご指導のほどをお願い申し上げます。

行事予定

広報委員長 五十嵐 武

8月 8日(月) : D5臨床実習開始

8月18-20日 : 歯学教育者のためのワークショップ

(三島: 東レ総合研修センター)

8月27日(土) : 歯学部オープンキャンパス(洗足キャンパス)

9月23日(祝) : 歯学部オープンキャンパス(旗の台キャンパス)

10月 1日(土) : 大学院歯学研究科英語試験(旗の台キャンパス)

10月3-7日 : 歯学部1年生早期体験実習(甲府市内各施設)

PBL 委員会活動報告

PBL 委員長 中村 雅典

4月4, 11, 18, 25日(月曜・午後)にD3統合科目である「顎口腔発生・構造・機能」コースでPBLを行いました。また、その反省会もコーディネーターとファシリテータの先生方のご協力で5月23日に無事終了致しました。本学歯学部で行なったPBLは今回で5回目となり、この間ご協力頂いたファシリテータの数は延べ80名位にはなるうかと思えます。

現在、多くの歯学部がPBL教育を導入あるいは導入しようとしています。その方法は学校により様々で、確立されたプログラムやファシリテータの指導指針などはありません。本学歯学部PBL委員会では各コースのPBLチュートリアル後に反省会を開き、昭和大学の現況に即したより良いPBLチュートリアルを行なうべく改善を行なっています。何度かファシリテータとしてご協力頂いた先生方は、昭和大学のPBLにご理解を頂き、その改善点などもすでにご存知かと思いますが、まだまだPBLチュートリアルでは何をしているのだらうと思われている先生方もいらっしゃるかと思います。

そこでPBL委員会では、昭和大学歯学部でのPBLチュートリアルの方法をより多くの先生方に知って頂きたく、第25回 昭和歯学会総会(7月2日開催)において、以下の演題でPBLの現況や改善点等を報告いたしました。

- 「平成17年度歯学部3年生におけるPBLチュートリアル」
その1 「サマリー」作成課題の意義
その2 情報伝達手段としてのE-mailの活用
その3 リソースの電子化の試みとリソース使用実態について

また多くの先生方からご意見を頂き正式実施にむけて、さらに改善していきたいと思っています。

夏期スポーツ大会壮行会

学生部長 立川 哲彦

本年度のスポーツ大会壮行会は7月8日に開催されました。昭和大学の体育系クラブだけでなく、文化系クラブの参加もあり、1号館5階の会議室がほぼ満員になるほどでした。諸星学生部長より開会の挨拶後、細山田学長より壮行の言葉があり、選手宣誓が高らかに宣誓され、学生は夏の大会に向け、気を引き締め、大会の戦いに挑む気構えが出ていました。歯学部の全歯体(8月1日から11日まで)は、本年度は九州歯科大学が主管いたしますので、ほとんどのクラブの大会が小倉で行われます。各部門は昨年度より多くのデンタルポイントを取り、総合成績で上位になることを期待しています。

診療統計

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	17,898	745.8	744.2	731.3
入院患者	400	13.3	11.7	10.4

平成17年6月分

昭和大学公開講座予告

広報委員長 五十嵐 武

9月,10月の昭和大学公開講座で歯学部では次の3名の先生が講演されます。

「第32回 旗の台公開講座」

日時:平成17年9月10日(土),14:30分~16:00

場所:昭和大学旗の台校舎4号館6階600号室

(第二講演)

演題:【砂糖とむし歯菌について】

講師:昭和大学歯学部教授(口腔微生物学)五十嵐 武

「第8回 歯科病院公開講座」

日時:平成17年10月15日(土),13:00~15:30

場所:昭和大学歯科病院6階 第二臨床講堂

(第一講演)

演題:【いつ?どのように?いくらかかるか?歯列矯正のすべて】

講師:昭和大学歯学部教授(歯科矯正学)榎 宏太郎

(第二講演)

演題:【健康増進,歯周病と全身のつながり】

講師:昭和大学歯学部教授(歯周病学)山本 松男

(講演終了後)

歯科衛生士による,簡単な口腔の清掃および口腔衛生指導 15:30~終了(希望者のみ)

学会開催のお知らせ

広報委員長 五十嵐 武

・井 美恵 大会長(口腔衛生学講座教授)

第54回日本口腔衛生学会・総会

2005年10月6, 7, 8日

品川区立総合区民会館「きゅりあん」

・久光 久 大会長(齶蝕・歯内治療学講座教授)

日本歯科保存学会50周年記念大会ならびに2005年度秋季大会(第123回)

2005年11月23, 24, 25日、東京国際フォーラム

編集後記

広報委員(小児成育歯科教室) 向山賢一郎

今年は昨年と異なり少ない台風発生ですが、本年上陸第1号となった台風7号の大きな被害もなく台風一過とともに、真夏の日差しが眩しい夏本番となりました。私の所属しております小児成育歯科教室も夏の日差しと共に、夏休みになって来院されるお子さんも増え、こどもの泣き声が一層大きく感じられ、一年の中で一番張り合いが感じられる季節でございます。

さて歯学部だより7月号をお届けさせていただきます。不慣れな作業で五十嵐委員長他諸先生方にはご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。お忙しい中、歯学部だよりのためにご執筆下さった多くの先生方に心から感謝致しますとともに、様々なご配慮下さいましたこと心からお礼申し上げます。ありがとうございました。